

教えて! さめじま先生



教えてくれる先生

歯科さめじま
鮫島佳子 院長

東戸塚出身。口のトラブルから最新の予防歯科にいたるまで最善の歯科医療を提供。地元で密着した歯科だからこそ、多くの人に長年愛されている

歯の健康について大切なことをさめじま先生が毎回分かりやすく解説。一生つき合っていく「歯」のことをしっかり考えてみよう!

※プロケード偶数月号掲載

健康な残った歯を削る理由

部分入れ歯の選択肢を知る

高齢の患者さんで多い訴え

「好きなものを食べられなくなった」。総入れ歯は支える自分の歯がないため、どうしても強く咀嚼できません。弾力があるたくわん、タコやイカ、肉料理など、強く噛もうとすると入れ歯が食い込んで痛かつたりして食べる気持ちも失せてしまいます。「食べられない」というだけで、友人との外食も断りがちになり、外食も減り引きこもるようになります。「美味しいものを食べられる」という当たり前なことができなくなるのは、歯が健康

な内はなかなか想像できませんが、非常に辛く、大きなストレスになるのです。健康なまま長生きするために、今残っている歯を大事にする。そのための一つのきっかけとして、部分入れ歯の選択肢を知ってください。

残った歯を諦めない

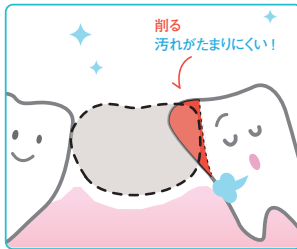
部分入れ歯を妥協してしまいう人は、「どうせすべて歯を失うから」と諦めてしまったり、残った歯を大事にしたい気持ちばかり先行してしまい「悪くもない歯を

削りたくない」とベストな治療法を拒んでしまったりする人が多いです。部分入れ歯にも方法はたくさんあります。そして、歯科医師が提案するのは、患者さんのより良い解決法。まずは自分がどうなりたいか、希望をしっかりと持ち、納得いかないことがあればなんでも質問してみてください。

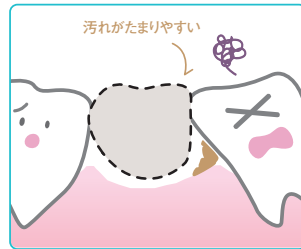
残った歯が重要なピース

例えば、下の歯14本のうち、5本だけ残っている場合、大抵は何かしらのトラブルがあつて歯を失っているのです。残った歯もきれいに直立しておらず、いろいろな方向を向いています。そこにそのまま部分入れ歯を入れようとしても、傾斜した歯の間にはうまくはまらず、隙間ができます。その隙間に汚れがたまり、歯周病になり、そして残っていた歯も失ってしまうという悪循環に陥っている患者さんも少なくありません。(図左)

【削って作ると】



【削らずに作ると】



入れ歯を支える自分の歯

前述の例の場合であれば、傾いている歯を削り、そこに合わせる部分入れ歯を作ること、しっかりと

と固定されます。総入れ歯と比べると、部分入れ歯の方が、自分の歯が支えてくれる分はるかに安定しているのです。残った歯を大切にすることというのは、残った歯も含め口の中を健康に保つ、ということ。

部分入れ歯は人それぞれ

部分入れ歯は残っている歯の状況が患者さんによって様々なので、保険適用のものから、自費治療のものまで、入れ歯の設計方法も素材も多数のラインナップがあります。当院では歯科技工士を常駐させているため、患者さんの要望を取り入れより良い物を制作できます。また、入れ歯の修理は通常1週間ほどかかってしまうところ数時間〜3日ほどでお渡しできます。歯科医師と連携して、より細かい内容にも応じることができるよう、入れ歯でお悩みのことがあれば、ご相談ください。

保険診療 部分床義歯



国が定めた材料で製作し、設計も限られている。

自費治療

オリジナル なごみデンチャー ノンクラスプ義歯



当院オリジナルのアタッチメントを使っている。入れ歯を支える金属がない入れ歯。見た目が気になる方に最適

金属床義歯



入れ歯が金属でできているため、薄くでき、丈夫で違和感が少ない。自由診療のため、アタッチメントを用いることにより、パネを見えなくすることも可能です。



歯科さめじま

☎045-823-4181

④ 戸塚区品濃町563ネオポリストキV2F 東戸塚駅徒歩8分 駐車場あり
⑤ 9:30~18:30(昼休憩なし) / 土曜は17:30迄
⑥ 日曜、祝日 【MAP 東 D-1】
※ホームページも是非ご覧下さい。
<http://samejimahdc.jp>

